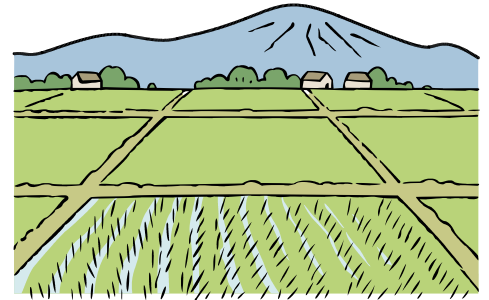


「いと、あはれなることも 侍りき。」



新型コロナウイルス感染防止のための分散登校期間を経て、ようやく通常登校、通常授業の運びとなりました。久しぶりにクラス全員が揃い、初日には教室に笑い声が戻りました。放課後、吹奏楽部の管楽器を練習する音色が響き渡りました。感染防止に努めながら少しずつ日常を取り戻している光景に、安らぎを覚えたところです。

ところで、先日古典Bの授業で「ゆく川の流れば絶えずして、しかももとの水にあらず。」で始まる『方丈記』を学習しました。これが書かれた鎌倉時代初期は、仏の教えが人々に行き渡らない仏教の廃れた時代「末法の世」と言われた時代でした。実際に大火事、台風、干ばつ、大地震などの大災害に続き、疫病(伝染病)までが人々を襲い、道端には餓死者があふれたと『方丈記』にも綴られています。そんな中でも「いと、あはれなることも侍りき(たいそうしみじみと心に沁みいることもございました。)」と、鴨長明は次のようなことを書いています。

自分の身よりも相手のことを思うがため、愛情のより深い者が必ず先に死ぬ。例えば親子の場合、めったに手に入らない食べ物を子どもにあげてしまう親のほうが先に死んでしまう。仁和寺の高僧は、自分が感染するかもしれないというリスクを承知の上で、数限りない死者の額に「阿」の字を書いて成仏させようとした、等々。

『方丈記』は仏教的無常観に貫かれている作品だということはよく言われていることです。「仏教的無常観」とは、この世のものはすべて永遠ではない、常に変化しているという仏教的な考え方のことです。私はこれまで鴨長明は人の命も自然もこの世にあるすべてのものは生滅変化を繰り返すから、そんなにこの世のものに執着する必要はない、という諦念に近い静かな感慨をもってこの作品を書き上げたのだと思っていました。

ウィズコロナの時代と言われている今は、この鎌倉時代初期によく似ていると思います。再びこの作品を読むと、鴨長明は静かに無常を受け入れる生き方を説いているのではなく、むしろ「慈悲の心」を感じながら積極的に生きることを説いているのではないかと感じました。

「慈悲の心」は「愛」と言ってもいいかもしれませんが。エアコン未設置教室のエアコンやトイレの床掃除用ポリッシュを贈ってくださった同窓会の皆さま、全生徒全職員にフェースシールドを寄付してくださった企業の方、手指消毒用のアルコールを贈呈してくださった歯科医の先生、子供たちも大変だけれど先生もたいへんだよねと言って励ましてくださる近所のパン屋の奥さん等々、数多く挙げられる「愛」ある行動、言葉に私たちは救われています。みんなが大変な思いをしているさなか、それを恨むのではなくお互いに励まし合い前を向こうとする姿勢は、皆さんの中からもひしひしと感ぜられます。そこに私は予測不可能な時代に生きる強さを見、とても頼もしく感じました。

新型コロナウイルス感染は収束したわけではありません。油断することなく感染防止に努めていきたいと思えます。来週から定期試験が始まりますが、勉強のこと、生活のこと何か心配なことがあったらぜひ先生方に相談してください。どんな時代にもどんなところにも「愛」はあります。

【7月の予定】 6/29現在のものです。急な変更の可能性もあります。その際はご連絡いたしますのでご承知おきください。

日	曜	主な行事	日	曜	主な行事
1	水	B 交通事故違反「0」3ヶ月運動 登校指導 夏服期間(~8/31)	18	土	
2	木	B 夏季原付免許取得説明会 登校指導	19	日	
3	金	B 登校指導	20	月	A きずなの日 生徒総会(紙上)
4	土		21	火	A
5	日		22	水	A
6	月	第1回定期試験	23	木	
7	火	第1回定期試験 自転車安全整備点検	24	金	文化部発表会(予定)
8	水	第1回定期試験 生徒協議会	25	土	
9	木	A	26	日	
10	金	A	27	月	B 短縮45分授業(5hカット)三者懇談
11	土		28	火	B 短縮45分授業(5hカット)三者懇談
12	日	教員採用試験会場	29	水	B 短縮45分授業(5hカット)三者懇談
13	月	A あいさつ運動(~7/17)	30	木	B 短縮45分授業(5hカット)三者懇談
14	火	A 尿検査(2次)	31	金	B LHR 身体計測
15	水	A 履修仮登録提出締切	1	土	
16	木	B 内科検診	2	日	
17	金	B 学びの基礎診断(進研模試) 短縮40分授業	3	月	夏季休業開始(~8/17)
			4	火	
			5	水	

保護者のみなさまへ -----

休業中はさまざまな御意見、励ましのお言葉をいただきありがとうございました。

その中でオンライン授業の充実を望むお言葉も有難く頂戴いたしました。そこで 6/17 を「オンライン授業の日」として、1コマ 30 分の時間割に従って実施しました。自分の自由な時間で動画を視聴するより時間割が決まっているほうが、メリハリがあってよかったという声が多かったように思われます。一方、画面が乱れたり音声聞こえなかったりという不具合もありました。また急遽実施したため、塾のオンライン授業の時間と重なってしまったなど様々な反省点も浮かび上がってきました。他年次も同様に実施するため、学校のサーバーの容量の関係で、全クラス一斉にオンライン授業をするということは難しい面もありますが、今後の課題として取り組んでいきたいと考えています。

7月の行事予定について、まず 7/17 の進研模試は今年から「学びの基礎診断」として授業日に実施いたします。御承知おきください。7/24 は県民文化ホールでの文化部発表会の開催を生徒会で検討しております。詳細は決まり次第ご案内申し上げます。また 7/27 ~ 7/30 の日程で三者懇談を予定しております。別途ご案内申し上げます。今回は長い休業期間もございましたので、担任の先生方とじっくり話す機会にさせていただきたいと思っております。月末のお忙しい時期とは思いますが、何卒御協力のほどよろしくお願いいたします。



2 年次 HR 長 今年の抱負

<p>1組</p> <p>こんにちは！1組のHR長になった海老塚心です。今回は2年次に進級して、何か1年次でやらなかった新しいことに挑戦しようと思いいHR長を務める決心をしました。初めてで不安もありますが皆と全員一脚で頑張れたら、と思います。よろしくお願いいたします！</p>	<p>2組</p> <p>秋山惟風です。私が目指す学級はクラス全員が主人公で、一人一人の個性を最大限引き出すことの出来る学級です。微力ですが、一人一人が自分の個性を磨くお手伝いをしたいと思っています。よろしくお願いいたします！</p>
<p>3組</p> <p>2-3のHR長になりました深澤真由です。2020年も早くも半年が経とうとしている中でなかなか普段の生活に戻れないままですが、この異常事態をクラス、学年、学校一丸となって乗り越えて行けるように力不足ではあると思いますが、今できることをしていきたいと考えています。1年間よろしくお願いいたします。</p>	<p>4組</p> <p>馬淵彩加です。「当たり前前を当たり前前にやる!!」これは、担任の今村先生から提示されたクラスの目標です。簡単そうに見えて意外と難しいこの目標をクリアすることはもちろん、それにプラスして今村先生、依田先生含めた39人で思い出を作るとともに、この状況にも負けない元気どこのクラスよりも仲良く全員にとって1番最高だといえるクラスにします！</p>
<p>5組</p> <p>5組のHR長になりました渡邊凜です。大変なご時世ではありますが、去年の経験も生かして、みんなが楽しいクラスとってくれるように自分たちらしく精一杯頑張りたいと思います。</p>	<p>6組</p> <p>2-6のHR長になりました中山蒼太です。こういったことはあまり経験がないので、自信はありませんが、楽しいクラスになるように頑張りたいと思います。</p>